

LIBRARY NEWS

NO.6 2024年度 10月号 3年次図書委員



村上春樹

『騎士団長殺し—第1部 頭れるアイデア編〔上〕—』

『騎士団長殺し—第1部 頭れるアイデア編〔下〕—』

『騎士団長殺し—第2部 遷ろうメタファー編〔上〕—』

『騎士団長殺し—第2部 遷ろうメタファー編〔下〕—』

(新潮文庫刊)

一枚の絵が、秘密の扉を開ける

妻と別れ、小田原の海を望む小暗い森の山荘に暮らす36歳の孤独な画家。

アトリエの屋根裏で『騎士団長殺し』というタイトルの日本画を発見する。

緑濃い谷の向かいに住む謎めいた白髪の紳士が現れ、主人公に奇妙な出来事が起こり始める。

雑木林の中の祠、不思議な鈴の音、古いレコードそして「騎士団長」……

想像力と暗喩が織りなす村上春樹の世界へご案内します！

COLUMN

代表作：ノルウェイの森

一作者紹介一

海辺のカフカ

村上春樹

ジャンル：純文学

(むらかみ はるき) 新作：街とその不確かな壁

僕は、この騎士団長殺しが初めての村上春樹さんの作品で、好き嫌いが分かれる作家だと聞いて構えていたけど、読んでみると読みやすくすぐに不思議な世界観にいざなわれました。興味のある方は是非、村上春樹ワールドに足を踏み入れてみてください！

表紙の画像は出版社の許諾を得て掲載しています